

夏越祭

題字は社宝伝崇徳天皇ご宸筆
勅額の文字を模したものです。



昭和三十一年 夏越祭

今年の春祭は好天に恵まれて、桜花爛漫のもと盛大に斎行されました。氏子の皆様には平素ご厚情に与り、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、鎌倉時代に制定された「御成敗式目」は学校の教科書にも載っており、誰もが一度はその法令名を耳にされると思います。内容としては、貞永元年（西暦一二三二年）に執権北条泰時の指導の下、裁判を公正に行うための基準として制定された武士政権のための法令（式目）です。源頼朝以来の先例や武家社会での慣習・道徳をもとに多様な内容が成文化されましたが、その第一条には「可修理神社専祭祀事」とあります。つまり「神社を修理して祭祀を大切にすること」が挙げられているのです。

折しも、当社は御創祀一八八〇年の記念事業に取り組んでおり、若干の遅れは生じているものの、現在は社務所の改築工事を鋭意進めているところでです。

また、この度の記念事業奉賛会設立後に判明しました御神門の雨漏りにつきましては、市内在住の久門重富氏より赤誠溢れる多額のご寄附をいただき、記念事業と並行して緊急に改修を行っております。ご参詣の皆様方には何かとご不便をお掛け致しますが、慣れ親しんだ新しいその姿を再び披露できる日まで、今しばらくのお時間を頂戴したいと存じます。

先の御成敗式目第一条の中には「神は人の敬いによってその威を増し、人は神の徳によって運を添ふ」とも出てまいります。神道においてはよく知られているこの言葉ですが、皆様からの貴重な御浄財をもって十分に整備された神社で、恙なく祭礼を齎行していくことが大切です。そうして祭祀の厳修を通して神様につながり、この地で生活を営む人々に大神様の御神威の益々輝きわたらんことを期して、役員一同、一心に日々を勤めております。

神社には毎月の「朔日祭・月次祭」をはじめ、各種の祭典が折々に斎行されています。氏子崇敬者の皆様も先ずはお気軽にご参列いただき、祈りの場・祈りのひと時に身を委ねてみられては如何でしょうか。大神様とのご神縁を更に深めていただくものも存じます。

平成の御代も既に三十年。今年もまた暑い夏がやって参ります。

伊曾乃神社では例年、旧暦六月十五日に加茂川の河川敷（加茂町）の祭場にて夏越祭を斎行いたしております。今年は七月二十七日（金）です。

夏越祭には風そよぐ加茂河原の夕ぐれへ、ぜひともご家族皆様お揃いでお参り下さいますようお願い申し上げます。

「水無月の 夏越の祓い する人は

千歳の命 延ぶといふなり」

「加茂川の みなそこすみて 照る月を

ゆきて見んとや 夏ばらへする」

氏子崇敬者皆様方のこの夏のご健康ご多幸をお祈り申し上げます。

宮 司 堀 川 修 巧

宝物二点 市有形文化財に指定

括頭巾形兜

明治十年十一月、第十代西条藩主 松平頼英公より当社に奉納されたものです。

製作年代は江戸中期から後期前半で作者は不明です。鉄板六枚を鋳留めで円盤状に整え、兜鉢を黒漆塗りに仕上げ玉眼入りの眼球が彫り込まれており、当時の最高技術をもって製作された西條藩史研究上、貴重な工芸品資料として指定されました。



銀箔押象形兜

明治十年十一月、第十代西条藩主 松平頼英公より括頭巾形兜とともに当社に奉納されたものです。

製作年代は江戸中期から後期前半で、作者は不明です。和紙張懸けで色漆と銀箔を押し象頭を形作っております。現在まで国内の象形兜は象の耳鼻のみを兜としているものが二点確認されていますが、象頭全体はこれ以外になく、大変貴重な工芸品資料であることから指定されました。



浄財奉納御礼並御神門屋根葺替工事着工について

久門重富様の浄財を活用

平成二十八年、御神門銅板の小破に伴い、新町の近藤建築板金様のお取り計らいによって修理を施して戴きました際に屋台による小破欠損のみならず、屋根全体の銅板に大小無数の開口を発見しました。以前から葺替工事の必要性については議論されていたものの、予想以上の状態に苦慮する最中、このたび久門重富様より傘寿記念に金五千万円の浄財を氏神様の護持運営のために奉納した。いとの尊いご意向を賜り、事業の着工ができました。

久門様のお人柄は温厚にして自他ともに認めるお祭り好きだそうです。伊曾乃氏子ならごく自然とそうなるのでしょうか、特筆すべきは信仰心が特に篤いお方で、お若い頃より氏神様を敬い御先祖様を崇めて日々精進なされると心に定め、それが自身の果報であると強い信念をもって人生を歩まれていらつしやるところです。その原点は幼き頃に見た一つの出来事が切欠であったと仰います。



昭和十二年、中之段にお生れになられた久門様

は、お父様と神社近くの畑に通い、農作業をなされていたそうで、その頃の神社は國幣中社昇格運動に伴っての社務所建設工事や勤労奉仕などで多くの人々が押し寄せていたそうです。丁度その頃、神門前の御神木と崇める大楠が切り倒されることとなり、社寺境内の伐採を手掛ける山師とともに近隣の人々も加わって作業が始まったそうです。

作業も中盤に差し掛かったときのこと、突如として幹から赤い樹液が流れ出し、これは神の祟りに触れたと恐れ、流石の山師でさえも伐採を固辞し忽ちにして作業は中止、切り倒しは免れたと言います。神木の伐採を一目見ようと集まった大勢の人たちとその様子を見ていた幼い久門少年に驚きと衝撃を与え、その有様が心の奥底に深く刻まれることとなり、氏神 伊曾乃大神様への畏敬の念を懐く出来事に



なつたそうです。

激動の時代を崇高なる精神をもって乗り越えられ、大成なされましたことに敬意を表しますとともに、浄財のご奉納に深甚なる感謝の意を申し上げます。今回の事業において神門最上部の甲板をはじめ母屋・垂木等一部が再生不可能な状態にまで劣化していたほか、部分的に雨漏りが確認されました。工事の概要としましては、木工事ののちに銅板葺替え工事に移行します。工事は本年九月末頃までに完成する予定です。皆様方にはご不便をおかけ致しますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



劣化著しい甲板

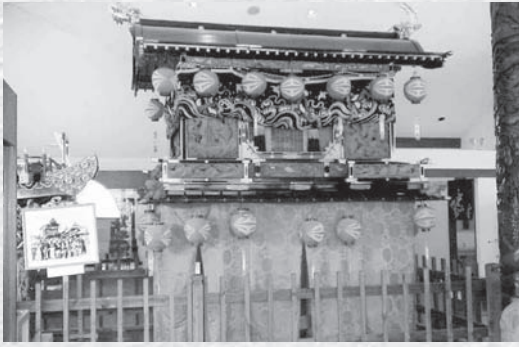
三、愛媛県外に出ているダンジリを訪ねる ⑤

【その1】

いよ西条だんじり祭り編著者 村上 俊行
西条祭りのだんじりの最大の特徴は担ぎだんじりである。

全国に出ているダンジリでは、多くの担ぎダンジリは廃れたり曳きダンジリに代わったり、車を付けて曳きダンジリとして運行されていたり、曳きダンジリであるが元は担ぎダンジリであった特徴を残しているものなど大変多い。担ぎから曳く運行に変わった多くのダンジリは、道路が舗装された頃である。

日光市二荒山神社の弥生まつりに出ているダンジリは、郷土センターや木彫りの里に展示されている担ぎダンジリであったが、現在運行し



弥生まつり担ぎ屋台



弥生まつり本屋台と花屋台

ているダンジリは本屋台一
台と花屋台と
呼ぶ曳きダン
ジリである。

高松市女木
島住吉神社の
祭礼には四本
柱と布団の無
い太鼓台と台
輪と高欄だけ
の屋台二台と
が出る。屋台
の高欄には唐
破風の絵が描
かれてお

かれてお
かれています
り、補助
車様の車
で進む。
ダンジリ
歴史の初
期のもの
が伺える。
松山市
北条の祭
礼に出る

いるダンジリは一階の高欄と四本柱に水引



北条のだんじり



女木島の屋台

幕が有り屋根がないものである。(現在は屋根

付きもある)。

四隅に笹を立てたダンジリは西条だんじりの元との伝えもある。

富山地方に出る夜高あんどんは担いで運行していたが現在では車に乗せて担いで運行し、ぶ



津沢の夜高あんどん

つけ合いがメインになっている。
千葉県南房総市平久里天神社祭礼に出ている担ぎ屋台は大型で太鼓台様の四本の昇き棒で、東日本では珍しい。現在では車をつけて担いでいる。



平久里担ぎ屋台

表彰・感謝状・受賞者御芳名

年番表彰

(西条地区)

監事
氏子総代
氏子総代

渡邊博毅殿
山田順殿
川下征英殿
浅田隆史殿

総代永年奉仕者表彰(二十五年)

西町 高橋元正殿
(平成二十六年)

総代永年奉仕者表彰(二十年)

常務総代 小野昭雄殿
(平成二十八年)

下喜川樋之口 越智易孝殿
(平成二十八年)

光明寺通り 黒川清美殿
(平成二十八年)

駅前三区北 山内幸男殿
(平成二十八年)

河ヶ平 上野清七殿
(平成二十九年)

常務総代 三浦仁殿
(平成二十九年)

吉原町東 杉井祐殿
中之池 杉森友一殿

鬼頭永年勤続表彰(二〇年)

大総取締 一色信之殿
総取締 一色鉄馬殿

鬼頭感謝状(一〇年)

植木基司殿

鬼頭委嘱状

安藤重行殿
村上剛殿

奉納御礼

◎玉津

工藤 幸子様
神子舞鈴二点
神子舞扇二点

◎上神拝

矢野 素近様
手水柄杓掛 一台

◎喜多浜

白石都志彦様
小型御輿一台

◎横黒

越智 哲夫様
小型屋台一台

◎上神拝

伊藤 哲義様
テレビ一台

奉納ありがとうございます。

御奉仕御礼

すすはらい奉仕

敬神婦人会の皆様

明治二七・八年戦役奉納弾据付作業

伊藤 勇様、森 義光様、
森 光志様

焼却炉解体撤去奉仕

神戸鉄工様、(株)グリーンブリッジ様

正月前の境内清掃奉仕

神戸長寿会、神拝神友会の皆様

神門前大楠の大注連縄奉製

神戸長寿会の皆様

春祭前の境内清掃奉仕

神戸長寿会、神拝神友会、
大町福寿会の皆様

春祭餅つき奉仕

神戸長寿会の皆様

春祭餅包み奉仕

明比徳子様ほか中野地区有志の
皆様

春祭準備作業

浅田秀隆様、井上博司様

下福古墳清掃奉仕

西條史談会有志の皆様

ご奉仕洵にありがとうございます。

お詫び

第二十八号の奉納御礼の拝殿横幕
において、次の方々の記載漏れがご
ざいました。

お詫び申し上げます、記載させて戴き
ます。

鬼頭顧問

川口 義富様
久門 昭明様

鬼頭副取締

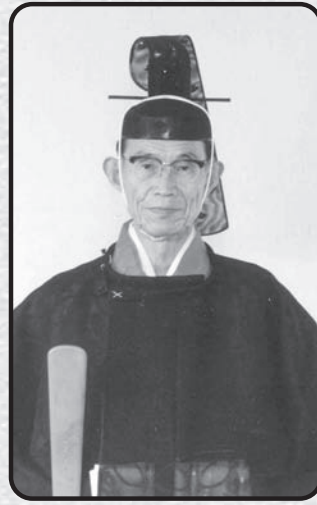
塩崎 康秀様
上田 実様

鬼頭

戸田 和昌様
植木 基司様
越智 哲夫様
藤田 義光様



葛城光彦 名誉宮司 帰幽



当社名誉宮司で飯積神社宮司の葛城光彦（かづらきてるひこ）様が、平成三十年一月十四日に帰幽されました。

葛城名誉宮司は大正八年のお生れで、昭和十一年に旧制西條中学校をご卒業後、國學院大學神道部に学び、在学中は並々ならぬご努力を重ねられ、学長賞を授与されてご卒業なされ、間もなくご実家である飯積神社をはじめ兼務社の宮司となられ、昭和二十八年に当社権禰宜、そして昭和五十五年に前任の加藤浅次郎宮司の後継として宮司に任命なされました。例大祭では御神輿の御神幸に騎乗し供奉されるそのお姿を今なお、懐かしく語られる方も大勢いらっしゃいます。

戦前、戦中、戦後と、激動の時代に青年期をお過ごしになり、神明に奉仕する傍らで混沌とする社会情勢を鑑み、地域住民の社会福祉の増進と更生保護活動にも取り組まれたご功績も大きく、拙き文章でお伝えすることは叶いません。
名誉宮司の来歴をご紹介させて頂き、その功績を偲び、心より哀悼の意を捧げます。



大正八年 飯積神社社家にご誕生
昭和十一年 愛媛県立西條中学校 卒業
昭和十五年 國學院大學神道部卒業 学長賞を授与される

昭和十九年 郷社飯積神社ほか八社 社掌

昭和二十年 村社風伯神社ほか一社 社掌

昭和二十一年 善通寺第三十六部隊 招集

昭和二十二年 飯積神社ほか九社 宮司

昭和二十三年 愛媛県民生委員

昭和二十四年 司法保護委員（現 保護司）

昭和二十八年 伊曾乃神社 権禰宜

昭和三十一年 神社本庁愛媛県駐在教誨師

神職身分二級

昭和三十七年 松山地方裁判所調停委員

昭和三十八年 愛媛県神社庁 理事

昭和五一年 神職身分二級上

昭和五五年 西条地区保護司会 会長

伊曾乃神社 宮司

昭和五六年 藍綬褒章（保護司功績）

昭和六二年 愛媛県神社庁 副庁長

平成元年 神職身分浄階一級

愛媛県教誨師会 会長

勲五等瑞宝章（保護司功労）

愛媛県神社庁 庁長

四国教誨師連盟 副会長

最高裁判所長官表彰（調停委員）

愛媛県神社庁 顧問

神職身分浄階特級

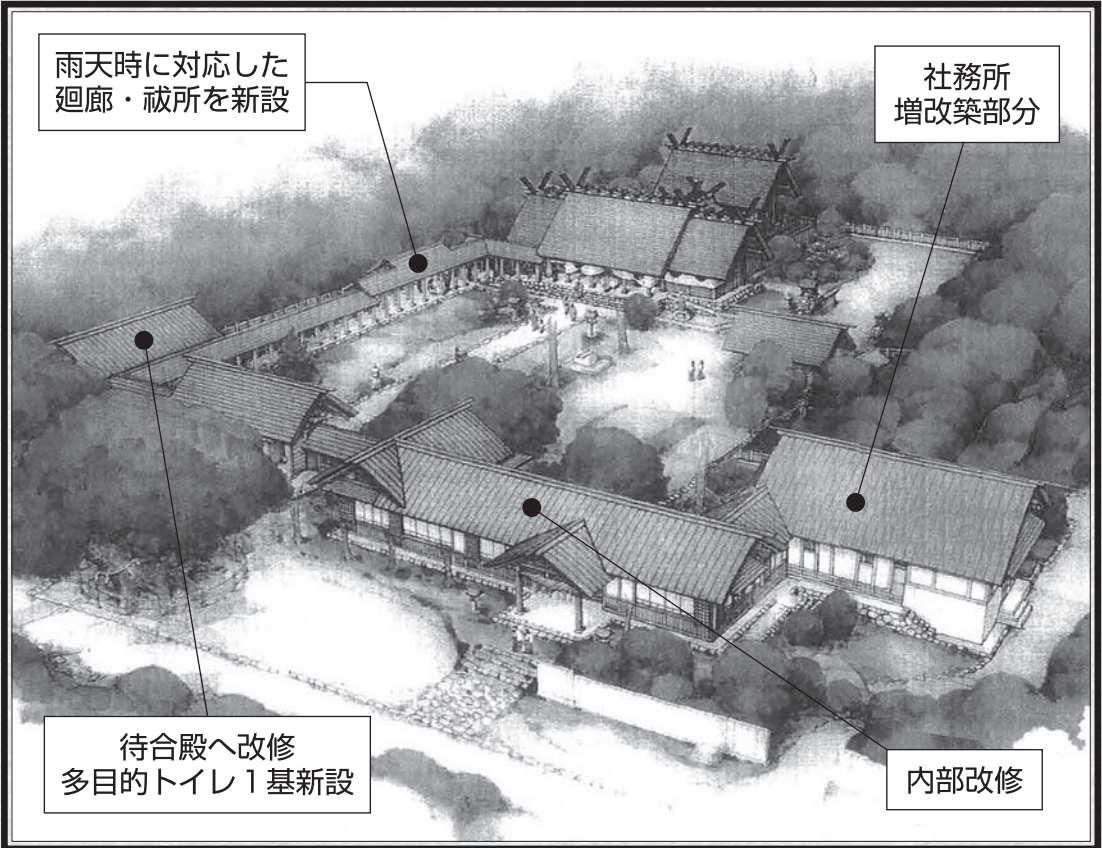
四国地方保護司連盟 会長

平成八年 伊曾乃神社 名誉宮司

平成九年 帰幽 享年百歳

平成三十年

御創祀一八八〇年(平成三十九年)記念事業奉賛会より寄付のお願い



待合殿・廻廊・社務所増改築完成予想図

事業概要

- 一、待合殿・廻廊建設
授与所を待合殿に改修し、多目的トイレを 一基増設します。
また、廻廊を新設し、祓所を併設致します。
- 二、社務所増改築
社務所内部の改修と、部分的な増改築 を致します。
- 三、その他関連工事

概算費用

- 一、外部(土木・外構) 関係工事 一〇〇〇万円
- 二、待合殿・廻廊建設工事 三〇〇〇万円
- 三、社務所増改築工事 六〇〇〇万円
- 四、建設工事関係諸経費 一〇〇〇万円
- 五、関連費用 四〇〇〇万円

合計 一億五〇〇〇万円

氏子総代様・お世話人様を中心に、奉賛活動をお願い致しております。
この奉賛事業にご理解とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

伊曾乃神社御創祀一八八〇年記念事業奉賛会

事務局 (伊曾乃会館内) (九時～十五時 平日休みあり)

電話 〇八九七(四七)七六九〇

社務所 電話 〇八九七(五五)二二四二

奉賛会現状報告

寄附石建立



前回の第二十八号でご報告させて頂きました通り、昨秋十月十二日までに寄附石建立工事は完了しました。

また、完成後にも奉賛金を戴いた方もいらつしやることから、こちらの方々の寄附石は新たに駐車場東側に正対させて建立するよう、基礎工事を着手する予定です。

社務所増改築工事



昨年十一月に既存の社務所（日本瓦葺き部分）の解体を完了し、周辺樹木の伐採作業と土壌改良並びに基礎

礎工事を経て、立柱作業に入っております。

今後の予定としては、社務所増築

（新築）部分の完成後に既存社務所の内部改修作業に着手することとなっております。

また、社務所をはじめ社殿や境内の灯笼等の照明設備、消防ポンプ電源の変更工事を五月下旬から順次実施する予定です。

会館側、参道側ともに建設車両の出入りや作業が行われ、通行にご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

奉賛会継続について

平成三十年三月末を事業の括りとして発足しました奉賛会ですが、現在も社務所増改築工事をはじめとする諸事業を行っており、引き続き奉賛会を継続することとなりました。氏子の皆様にはご心配をお掛けすることとなり大変申し訳ございませんが、事業を無事完遂するまでの間、何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

会長退任について

平成二十七年六月の発足より、ご尽力を戴いております白木秀典会長は、平成三十年四月十五日付けを以て会長職を退任され、理事となりましたのでお知らせ致します。なお、後任の会長人事につきましては常務総代会において選考中です。

境内整備の状況

昨年十二

月八日、雨

天と寒さが

身にしてみる

中にも関わ

らず、多数

のご参加を

戴き、社務

所増築部分



の雑木に加え、建物に近接したヒノキとヒバの伐採作業を行いました。

ヒノキは第一期工事で竣功した廻廊脇であること、ヒバは迎賓館斎館の脇にあり周囲には旧神門や伊曾乃文庫があり、事故なきようにと必要資材や伐採方向などの事前の打合せも行い、当日はご奉仕戴いた皆さんと綿密に連携をとりつつ作業を進め、無事に終えることができました。

また、四月十五日には待合殿前の楠の樹

勢が芳しくないことから、土壌改良のための

の作業を行いました。平成三年の御昇格五

十周年事業で神門両脇の廻廊と授与所（現

待合殿）の建設、今回の廻廊新設等で楠

の根茎や周辺土壌の土質も大きく変化して

いることから、部分的に掘削したところ予

想以上に土中の状態が悪く、急ぎよ確認作

業に留め後日、重機を用いたトレンチと全

体的に通気性を向上させる必要があるとの

結論に至り、四月二十七日に土壌と通気の

改良作業を実施しました。

さらに、伐採作業と土中の確認作業では

昼食を頂きま

した。

皆様方のご

厚情に篤く感

謝申し上げます。

ありがとうございます。



奉仕作業者のご芳名（順不同）

- 伊藤 勇 様
 - 森 光 様
 - 森 義 光 様
 - 木 清 志 様
 - 木 幸 雄 様
 - 矢野 幸 雄 様
 - 大澤 勝 幸 様
 - 加藤 武 司 様
 - 日野 信 二 様
 - 尾野 和 夫 様
 - 矢野 博 義 様
 - 戸田 孝 一 様
 - 近藤 清 政 様
 - 一色 鉄 馬 様
 - 浅田 秀 隆 様
 - 白木 秀 典 様
 - 渡邊 博 毅 様
 - 井上 博 司 様
 - 高橋 稔 様
 - 高木 豊 様
 - 内藤 秀 夫 様
 - 岩間 寿 子 様
 - 矢野 克 枝 様
 - 久門 ヨシエ 様
 - 明比 レイ子 様
- ほか有志の皆様
境内整備のみならず神社運営面において
も大変助かっております。
本当にありがとうございます。

開運春祭 盛大に高行

四月一日、晴天に恵まれて無事に齋行することができました。

今年の桜は全国的に早咲きであり、当地方でも祭典一週間程前から咲き始めたためたして祭典まで咲き誇っているものかと心配したところでしたが、雨天に見舞われることもなく見事に爛漫な姿を残してくれました。これもまた、氣象観測史上初となる十二日連続晴天の賜物でありました。

午後九時からの祭典では献茶献謡がなされ、引き続き茶筌塚では裏千家淡交会西条支部会員と県立小松高校茶道部の皆さんが参列する中茶筌供養を執り行い、会館では月次盆がございました。正午からは恒例の

子供屋
子の奉
納かき
比べと
相撲大
会も行
われ、
多くの
家族連
れで賑
わいま
した。



開運春祭

ご協賛者様ご芳名

(順不同)

神戸地区

釜之口 三浦商店 様

大町地区

福森町 有限会社真成堂セリ薬局 様

小川 川 シャディ石野 様

川原町 菓舗森川屋 様

登道 ビュークラブ 様

広見町 筒井商店 様

朝日町 西新事務器有限公司 様

神拝地区

上神拝 株式会社大阪屋 様

栄町 株式会社明治屋 様

西条地区

東町 株式会社マルジウ洋品店 様

東町 ことぶき寝具店 様

八千代巷 キング・ビスケット 様

新堀 株式会社三河屋 様

新堀 アラモードながわ 様

紺屋町 タカセ時計店 様

朔日市 お好み鉄板すみれ西条店 様

玉津地区

御舟町 四国海苔株式会社 様

壬生川地区 高倉スポーツ店 様

小松地区 書友閣 様

氷見地区 石鎚酒造株式会社 様

東温市下林 株式会社アスト 様

社頭 点描

お正月

比較的暖かい三日となり、晴天にも恵まれたことから境内は初詣の人たちで賑わいました。

左義長神事(とうとぎん)

一月十五日、古式に則りこれまでお護り戴いたお札やお守りをお焚き上げ致しました。

最近土日に行う町内も多くありますが、当社は旧来とおりの日に執り行っております。

紀元祭

二月十一日の建国記念の日に行われ、氏子総代さんをはじめ多数の参拝者で祭典を行い、皇紀二六七八年となった日本の誕生をお祝いました。



祈年祭

本年も立正佼成会 雅楽部「蓮華会」のご協力を賜り、二月十七日に五穀豊穡と水産豊漁、商工業の発展を祈念し、多数ご参列のもと厳かに祭典が斎行されました。

氏子総代会

半期に一度の氏子総代会が三月十七日に伊曾乃会館で行われ、歳入歳出に関する事項等の審議を行いました。

崇敬者大祭

昭和の日の四月二十九日、崇敬会員三十名程が参列する中に恒例の昭和祭と崇敬者大祭が斎行されました。祭典終了後は崇敬会総会が開催され、役員補選などを行いました。



敬神婦人会通信

日頃より伊曾乃神社敬神婦人会に対して、ご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。



会長以下役員
会員一同、皆様方のご支援があつて活動できま
す事を、心より
感謝いたします。
年末の敬神婦
人会が参加をす
る行事として恒
例となりました
「すすはらい神
事」に参加いた
しました。

お正月を迎えるにあつての御社殿・境内の大掃除。
いつも私たちを見守ってくれている氏神様への感謝の気持ちを込めて、精一杯お掃除をさせていただきました。綺麗になって神様も喜んでくれるはず・・・と思いつつ、すすはらいを行いました。

最後に綺麗になった御社殿をお参りし、気持ちの良い一日となりました。
祭典参列と参拝者へのおもてなしという事で、一月二十五日の初天神祭・筆供養の時は甘酒を、そして二月十一日の紀元祭では、祭典終了後に、小豆粥のふるまいを行いました。

こちらのふるまいは敬神婦人会が毎年行つており、会員一同も楽しみにしている活動の一つです。
冬の寒い日にいただく甘酒・小豆粥は、参拝者にもとても好評です。このような活動が、



氏子の皆様への参拝のきっかけを作る事になると思うと、敬神婦人会活動もより一層楽しく感じられます。
新緑の季節、五月五日のこどもの日の菖蒲祭には、祭

典のお手伝いをさせていただきました。
神様に神饌（お供えもの）を運ぶということも大切な役を行いました。拝殿内に緊張感が漂う中、お供えをいたしました。こどもの日なので子供さんの参列もたくさんあると考え、本年は敬神婦人会より「かしわ餅」を神様に供えさせていただきました。お供えをしたおしわ餅は、参列をした子供さんにお渡しをいたしました。かしわ餅を手にした子供さんの喜ぶ顔を見て、私たちもとても幸せな気分になりました。神様の為にはほんの少しでもお手伝いができたという充実感を感じつつ、日々を健康に過ごせるといふ事に感謝の気持ちをもちことができました。

これからも活動を通して神社神道についての知識や経験を積み重ね、よりよい敬神婦人会にしていきたいと考えております。これからもご指導・ご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。



ご存知ですか 氏子区域の鎮守さま

兼務社紹介 その四

明見神社（みょうけんじんじや）

鎮座地 西条市荒川四号八六番地

御祭神 可々背男命 大己貴命 市杵嶋姫命



国道一九四号線の八之川トンネルの南側にある「八之川バス停」の向かいの竹林から山道を歩くこと凡そ五分ほど上った山中に鎮座されています。

明見神社の創立年代は不詳ですが、古くから加茂地区八之川の氏神様で星神様としての信仰があります。

集落は南東に開けた山の中腹に位置している傾斜地にあります。加茂地区の集落の中でも地形が特に急峻で、集落内に唯一車両で進めるのは「八之川バス停」までとなっています。現在は八之川トンネルの開通によって安全に通行することができるようになりましたが、開通以前は巨岩と加茂川渓谷との狭間を縫うように行き来していました。残念なことに、平成十六年に東予地方を襲った大災害で集落に通ずる道路が寸断され、数日間孤立する事態に陥り、高齢化問題も重なり今は無住の集落となりました。

かつてここには「八之川の獅子舞」があり、祭礼の折には集落一戸一戸を巡って舞われていたそうです。現在、祭礼で獅子舞を舞うことはなくなりましたが、氏子出身者らによって定期的に道路の整備がなされ、神社の護持がなされています。境内にある社号石は愛媛県出身の陸軍大将 川島義之（二二六事件）の書によるもので、歴史と風格さを感じます。

お知らせ

崇敬会副会長 高橋勝行氏ご逝去に伴う補選が四月二十九日の崇敬者総会で行われ、池田 明氏が就任されましたのでご報告致します。

氏神さまと人生儀礼のお参り、知っていますか

知っているようで知らない神社の知識。神社といっても様々な成り立ちがございます。

その中でも、生活に緊密な神社といえば「氏神さま」であります。

「氏神さま」とは、生活を営む地域の守り神様のことで、当社では下島山境より西の玉津・大町・西条・神拝・神戸の各小

学校区と加茂地区全域が区域となります。工業地帯として昭和後期に埋め立てされた西ひうちは、市塚新街地先より工事が着手されたため区域の一つとなっております。こうした区域のことを「氏子区域」と呼んでいます。氏子区域で生活をしていても、最近では「氏神さま」を意識して生活するということが昔ほど無



ちょっと教えて!

氏神さまってなに?

氏神さまとは

私たちが住んでいるこの地域を古くからお守りしてくださる神さまのことで

皆様お住まいのこの地域の大氏神さまは

伊 曾 乃 神 社

です



家族やお友達と氏神さまへ



くなりましたが、年の初めの初詣は自然と「氏神さま」にお参りされているのではないのでしょうか。しかしながら、人生儀礼での氏神参りはどうされていますか? お参りに行くけどどういった意味があるのか、お参り年齢はどうなのか、厄除けと年賀の違



西条の大氏神さま 伊曾乃神社へお参りください

伊曾乃神社は、地域に住まわれる皆様のお子様の成長や家族の生活地域の安全を見守ってくださる神様です

伊曾乃神社ってどんなところかな?

「私たちの暮らしの中には神様と一緒に」

【お宮参り】 子供が生まれて、氏神さまへお参りします

七五三 該当年齢		
3歳	男児・女児	髪置
5歳	男児	袴着
7歳	女児	帯なおし

【車載】 車を購入後に、車と人をお救いして交通安全を氏神さまにお願いします

【七五三まいり】 子供が大きく成長した喜びに感謝をしてこれからも元気に育っていきますようにと氏神さまへお参りします



男性 厄年	
厄	25才
前厄	41才
本厄	42才
後厄	43才

【厄払い】 災厄を避け、今後の人生を無事安泰に過ごすため氏神さまでご祈願を受け、災いはらい、福を招きます

【年賀のお祝い】 長寿の祝いは「年祝い」といわれ、長寿に達した事を祝い氏神さまにお参りにいきます。

女性 厄年	
厄	19才
前厄	32才
本厄	33才
後厄	34才
厄	37才

七五三・厄除・年賀の該当年齢は、右の表をごらん下さい

神社の事でわからないことがあれば下記にご連絡下さい

お問い合わせ：伊曾乃神社 (〒793-0054 愛媛県西条市中野甲 1649) 電話：(0897) 55-2142 (8:30~16:30)

氏神さまへ お気軽に お参りください

年賀 (男女共通)	
還暦	61才
古稀	70才
喜寿	77才
傘寿	80才
米寿	88才
卒寿	90才
白寿	99才
上寿	100才

いはなどが分からないという声があり、このほど人生儀礼にまつわる内容をまとめたチラシを作成しました。新たに氏子区域にお住まいになられた方や、二世代三世代の若い氏子さんにもご覧になって戴きたいチラシです。ご希望の方は神社までご連絡ください。

祭事暦

(平成三十年六月)

平成三十年十一月

六月	一日	朔日祭	午前九時
	十五日	古神札焼納祭	午前八時三十分
		月次祭	午前九時
七月	三十日	大祓式	午後五時
	一日	朔日祭	午前九時
	十五日	月次祭	午前九時
	二十七日	夏越祭	夕刻
八月	一日	朔日祭	午前九時
	十五日	月次祭	午前九時
	十七日	瑞枝神社例祭	午前八時
九月	上旬	秋季氏子総代会	午前九時
	九日	鬼頭・屋台総代総会	
	十五日	月次祭	午後七時
	二十三日	秋季皇霊祭遙拜式	午前九時
		物故神職慰霊祭	午後二時
十月	一日	朔日祭並昇夫守入魂祭	午前十時
	六日	事始式	午後二時・午後三時
	十四日	宵宮祭	午後五時
	十五日	例大祭【大祭】	午前四時三十分
	十六日	神幸祭【大祭】	終日
		御旅所祭【大祭】	午前四時五十分
		神幸祭【大祭】	終日
		還御祭【大祭】	午後六時
	十七日	神嘗奉祝祭	午前九時
	一日	朔日祭	午前十時
	三日	明治祭	午前九時
	十五日	月次祭並七五三祈請祭	午前九時
十一月	二十三日	新嘗祭【大祭】	午前九時

本年は 7月27日(金)です

夏越祭

旧暦六月十五日



● 場所 加茂川橋下流 右岸(加茂町)

● 時刻 午後六時ころより午後九時ころまで

*当日は、次の内容で信号煙火を打ち上げます。

- 祭典実施報知 午前八時ころ
- 御神輿本社発 午後五時ころ
- 御神輿斎場着 午後六時ころ

信号煙火のほか、祭典中に数発程度の花火を打ち上げます。

新嘗祭並 大麻頒布始祭



● 祭典 十一月二十三日(金) 勤労感謝の日

● 時間 午前九時より

平成三十一年の神宮大麻(伊勢の神宮のお札)と、神社大麻の頒布も行います。氏子総代の皆様におかれましては、大変ご足労をお掛けしますがご参列のほど、宜しくお願い申し上げます。

ごあんない

屋台・みこし関係者の 皆様にお知らせします

平成三十年の年番は玉津地区です。

本年は、西条地区（常務総代 矢野 幸雄氏）です。宜しくお願い致します。

だんじり・みこし 奉納届

七月中旬頃より順次、各町内の氏子総代様へ郵送致しますので、内容をよく確認され、期限内に提出して下さい。

なお、氏子総代様は郵便到着後、運行責任者へお渡し戴きますよう、お願い申し上げます。

提出期限 八月三十一日（当日消印有効）

記載内容 次のとおり。遵守徹底のこと。

一、正確な「だんじり」または、「みこし」の名称

二、責任者の住所氏名および、捺印

三、提出月日若しくは、投函月日

留意事項

一、氏子納金未納、記載漏れ、期限外提出は受けません。

二、氏子総代会ほか、関係機関へ資料として用います。

三、未提出や書類不備の場合、氏子総代会でその旨を公表します。

鬼頭・屋台総代総会

奉納届に記載されている運行責任者宛に、後日案内状を郵送します。

本書にて開催の事前連絡と致します。準備をおすすめ下さい。

日時 九月九日（日） 午後七時より

会場 西条市総合文化会館にて

* 当日は、行政官庁から資料と物品の配布があります。開始時間五分前までに受付を済ませ、入場して下さい。（受付は、午後六時三十分から行っております。）

事 始 式



祭典終了後、鬼頭会より屋台番号札の引換札と昇夫番号札をお渡しします。祭典開始の十分前までは受付を完了して下さい。

当日は、屋台・みこしごとの揃いの祭り装束で参列してください。

昇夫守り

屋台・みこしの昇夫が身につけるお守りです。ご希望の方は、次の要領でお申し込みください。



名前入り

- 電話申込不可（専用の申込用紙記載に限る）
- 受付期間 七月一日～九月十日
- 初穂料 一体 八〇〇円
- お守りです。「愛称」や「姓」・「名」のみは受付しません。
- 申込用紙には必ず、連絡可能な電話番号を明記してください。

名前なし

- 電話申込可（専用の申込用紙記載併用）
- 受付期間 七月一日～十月十五日
- 初穂料 一体 五〇〇円

共通事項

- 受付時間は、午前九時～午後四時までです（電話問い合わせも含む）。
- 頒布は、十月一日正午より行います。
- 奉製作業に数週間の時間を要します。お早めにお申込みください。
- 奉製は申し込み順となります（追加の場合も含む）。
- 申込用紙はホームページからダウンロードできます。

発行

伊曾乃神社社務所
〒793-0054 西条市中野甲一六四九
電話 〇八九七・五五・二二四二
FAX 〇八九七・五六・四七六二
HP <http://www.isonoinja.or.jp/>